

令和五年 新春火曜午餐会 新春吉例 講談会

企画：鬘伝播堂 協力：上方講談協会 上方講談谷四座



旭堂南京 (きょくどうなんきょう)

出身地：奈良県大和高田市
趣味：芸術鑑賞・日本酒
経歴：平成20年12月 旭堂南左衛門に入門
令和2年7月 YouTube 谷四座参画
令和3年12月 上方講談谷四座参画
令和4年5月 上方講談協会副会長



旭堂南雲 (きょくどうなぐも)

出身地：島根県
特技：らくがき
経歴：平成29年 旭堂南左衛門に入門
令和2年7月 YouTube 谷四座参画
令和3年12月 上方講談谷四座参画

2023年1月17日火曜日。

快晴の冬の穏やかなこの日に新春火曜午餐会を開催いたしました。

今年も昨年大変好評であった「講談」を再び鬘伝播堂の企画・協力により上方講談協会から講談師の旭堂南京(きょくどうなんきょう)と旭堂南雲(きょくどうなぐも)両氏をお迎えしてご口演

いただきました。

今年は、さらに講談を知っていただくために「講談ワークショップ」と題して旭堂南雲氏に、講談の歴史や成り立ちなどを詳しく解説いただき、最後に講談の醍醐味の一つである「修羅場読み(しゅらばよみ)」をしながら「張扇(はりおうぎ)」を皆さんと一緒に打つ体験をしていただきまし

た。

当日受付にて張扇とテキストをお配りしたのですが、席に着かれると、早速張扇を打つ音が聞こえ出し、関心の高さを感じていました。

南雲氏の口演の中で「講談師、見てきたような嘘をつき」と言う言葉があり「講談師は嘘つきの看板を背負って堂々と語る珍しい仕

事です」との言葉に会場がわきました。そして最後に「三方ヶ原軍記」の修羅場を読みながらの張扇体験で締めました。

そして、いよいよ上方講談協会副会長の旭堂南京氏による古典講談「木津の勘助～勘助島の由来」をご口演いただきました。

旭堂南京氏は、師匠である旭堂南左衛門の芸風を最も受け継いでいると言われており、昨年5月に「二つ目」に昇進いたしました。

<木津の勘助／あらすじ>

大坂の南部、木津という場所に勘助という若者がいた。侍の息子で文武両道に秀でていたが、父親、母親を相次いで亡くし侍の生活に嫌気がさしたのか、町人になり日傭取りとして日々を暮らす。ある日のこと、母親の命日で大坂まで墓参りに行ったところ、大きな墓の傍らに袱紗(ふくさ)包みがあり、それを住職に届け、開いてみると20両という大金と書付が入っている。持ち主は淀屋十兵衛という大金持ちと判明、住職から帰り道で届けるように言われる。これを淀屋十兵衛に届けると礼として10両を勘助に渡そうとするが、勘助はその態度が気に入らないと説教をする。その毅然とした勘助に感心する十兵衛。十兵衛には18歳のお直という娘がいる。お直は勘助に一目惚れする。これを知った十兵衛は木津まで出向き、土地の人たちに勘助のことを尋ねると大層評判が良い。勘助の元を訪ねた十兵衛は、娘を嫁に貰って欲しいという。丁重に断る勘助だが、十兵衛がお直の考えを伝えると勘助はすっかり気に入ってしまい、身ひとつで自分の元に来ることを条件に受け入れることにした。

こうしてお直は勘助の元に嫁いだが、家事一切ができず、勘助がいちから教え込むことになる。

ある日、家主でお直との婚礼の際にも世話になっている米屋の六

兵衛さんが米相場で損をして200両の金が必要とのこと。そのことをお直に話すと「たった200両でよろしいのですか?」と返ってきたので話を聞くと、嫁いでくる時に当座の小遣いとして3000両あると言う。早速これを取り寄せ米屋の六兵衛さんに200両を渡して喜んでもらい、残りの金を積み上げ、なにか人の役に立つことをしようと、木津川に流れ着く土左衛門を引き上げて葬ってあげました。そのために土地を開墾して寺を建て墓地を増やしていき、上勘助島、中勘助島、下勘助島が出来上がる。後に勘助町と呼ばれる地となる。飢饉の際は私財を投げ打って町民を助けるも及ばず、ついに蔵破りをして町民を助けるが、裁きを受けることとなる。しかし、奉行の計らいで勘助島(自宅)への流罪となる。

真の狭客と言われた木津の勘助の一席。

<口演後記／旭堂南京>

今年もお招きいただき誠にありがとうございました。

今回の「木津の勘助～勘助島の由来」は「世話物」と呼ばれ、戦記物とは一味違った落ち着きある話となります。

講談師たちは、常に話のネタを

探しており、高座にかけて評判が良いものは弟子たちに受け継がれ、やがて古典として残っていきます。

最近では、企業の沿革講談や創業者一代記などのご依頼もいただいております。

上方講談協会とは

1949年(昭和24年)に創設。現在は、旭堂南左衛門(きょくどうなんぞえもん)を会長として、関西10名、名古屋支部に6名の合計16名の講談師が所属。天満講談席 上方講談を聞く会 武蔵の会 ほか

YouTube 谷四座▶▶▶

創作講談「上方講談谷四座」の公式YouTubeチャンネルはこちらです。

今回出演の南京、南雲両氏の創作講談もご覧いただけます!

講談に関するお問合せは

上方講談協会／事務局 鬘伝播堂
info@denpado.com
FAX: 072-637-0009
〒567-0861
大阪府茨木市東奈良二丁目14-13

